

拡張申請地「屋久島・口永良部島」の概要について

1. 名称:

やくしま くちのえらぶじま
屋久島・口永良部島生物圏保存地域 (屋久島・口永良部島ユネスコエコパーク)

2. 拡張推薦理由:

1980(昭和55)年にユネスコエコパークに登録されているものの、1995(平成7)年にユネスコエコパークの機能として、「経済と社会の発展」が追加されたため、その機能を果たす移行地域の追加設定が求められていることから、今回、移行地域の設定を含めて拡張申請を行うもの。

3. 申請自治体:

やくしまちょう
屋久島町 (鹿児島県)

4. 特徴等:

○特徴

- ・屋久島・口永良部島生物圏保存地域は、鹿児島県の屋久島と口永良部島の全域と沿岸の海域からなる。
- ・屋久島は、九州の佐多岬から南南西約60kmの海上に位置し、面積約504km²、周囲約132kmのほぼ円形の島である。島の中央部に九州最高峰の宮之浦岳(1,936m)を主峰に山岳が連座し、平成5(1993)年12月には、山岳部を中心とした10,747ha(島の21%)が、日本で最初の世界自然遺産として登録された。
- ・口永良部島は、屋久島の西北西約12kmに位置し、面積約38km²、周囲約50kmで、ひょうたん型の島である。新岳及び古岳が現在も火山活動を続け、特異な火山景観が見られる。全域が屋久島国立公園に指定されている。

○面積

総面積 78,196ha (18,958ha)

- ・核心地域 12,359ha (7,559ha)
- ・緩衝地域 20,137ha (11,399ha)
- ・移行地域 45,700ha (0ha)

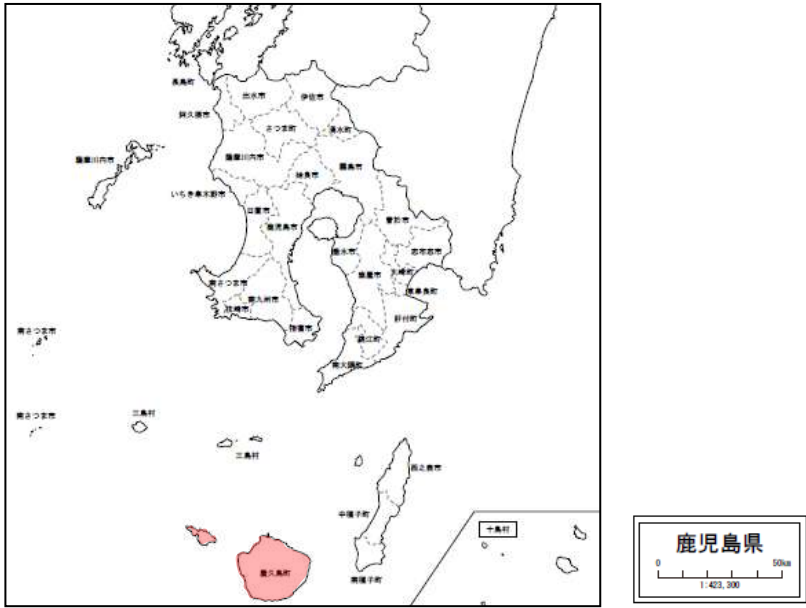
・上記カッコ内は、拡張前の面積を示す。

※ 核心地域と緩衝地域は、世界自然遺産地域が含まれる屋久島国立公園、屋久島森林生態系保護地域、屋久島原生自然環境保全地域等に指定されており、適切な保護・保全が図られている。

※ 移行地域は、核心地域及び緩衝地域以外の陸地に加え、離島の地域条件を生かし、島の沿岸を取り囲むように海域を設定している。島の人々の暮らしは、海・里・前岳・奥岳が一体となり、豊かな自然と人が深く結びついた生活が営まれ、現在も観光産業が中心となっている。

拡張申請地「屋久島・口永良部島」の位置等

位置

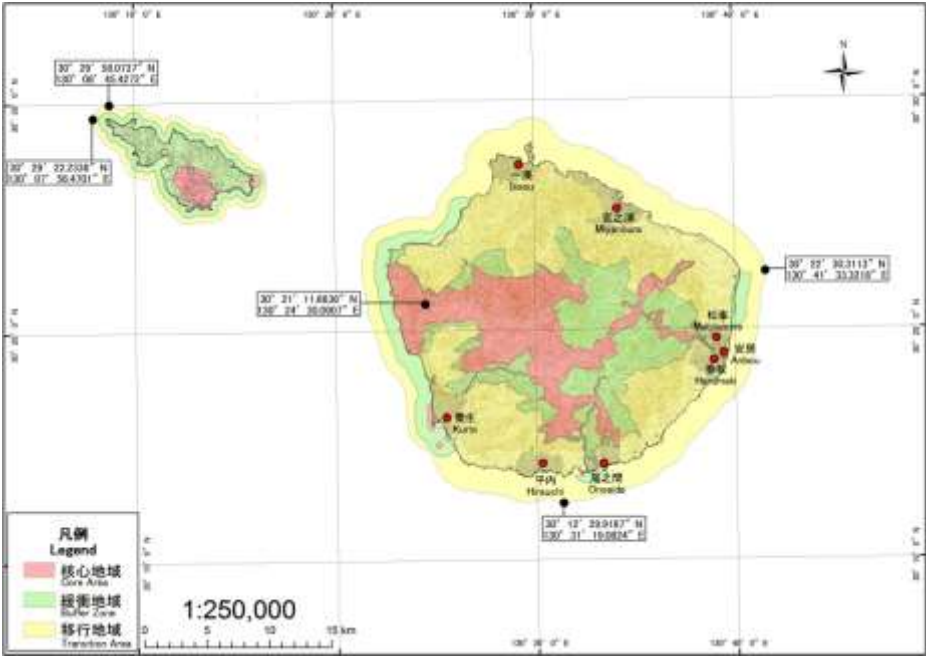


範囲・ゾーニング



- 核心地域 (Core) 7,559ha
- 緩衝地域 (Buffer) 11,399ha

【現行】



- 全域 781.96 km² (うち海域 241.30 km²)
- ・屋久島 705.66 km² (海域 200.77 km²)
- ・口永良部島 76.30 km² (海域 40.53 km²)
- 核心地域 123.59 km² (海域 1.71 km²)
- ・屋久島 114.06 km² (海域 1.14 km²)
- ・口永良部島 9.53 km² (海域 0.57 km²)
- 緩衝地域 201.37 km² (海域 56.34 km²)
- ・屋久島 154.16 km² (海域 35.28 km²)
- ・口永良部島 47.21 km² (海域 21.06 km²)
- 移行地域 457.00 km² (海域 183.25 km²)
- ・屋久島 437.44 km² (海域 164.35 km²)
- ・口永良部島 19.56 km² (海域 18.90 km²)

【拡張後】